

ロタワクチン定期接種化 メーカー2社、価格低減応じる

来年
10月
から

乳幼児のロタウイルス感染による胃腸炎などの予防として投与するロタウイルスワクチンが、2020年10月から定期接種化される。国内ではグラクソ・スミスクライン（GSK）の「ロタリックス」とMSDの「ロタテック」が承認されており、公費負担となる定期接種化に向けた検討が12年から行われてきたが、有効性や安全性の面で問題がなく、費用面での課題についてもメーカー2社が一定の価格低減に応じることから、今年9月の厚生科学審議会予防接種基本方針部会で定期接種化が妥当と判断した。

ロタウイルスは乳幼児の急性重症胃腸炎の原因となるウイルスで、10～100個のウイルスが口から入ることで感染する。感染後2～4日間の潜伏期間を経て下痢や嘔吐を繰り返し、重度の脱水症状が数日間続く場合もある。

ノロウイルスと比べて約100万倍のウイルス量を含んでおり、毎年3～5月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎が流行するが、その中に

はロタウイルスによる胃腸炎が多数含まれている。国内患者数は年間80万人ほどと推定され、ロタウイルス性腸炎による死亡者が毎年2～18人報告されている。

今回、ロタウイルスワクチンの定期接種化に関して、B型肝炎や麻疹・風疹などと同様に、集団予防や重篤疾患の予防に重点を置き、接種勧奨があるA類に分類。接種対象者として、ロタリックスは生後6～24週、ロタテックは生後6～32週とし、標準接種期間は初回は生後2カ月～14週6日とする。

ただ、腸重積症の既往歴が明らかでない人、先天性消化管障害を持つ人、重症複合型免疫不全症の人は対象外となるほか、長期にわたって療養が必要な疾病により、接種対象年齢の間に定期接種できなかった人が2年経過するまでに定期接種として接種できる「長期療養特例」も適用しない。

同部会は、他のワクチンとの接種間隔や、接種後に吐き出した場合に再接種を行わないかなどなどの検討事項については、引き続き議論することとしている。

考えよう！ キャリアデザイン

薬剤師には何が
できる？

③

最近、病気になる前の予防が大事という観点から、薬局薬剤師を中心に、国民の「健康相談に乗ること」が求められています。

中高年の一番の関心事の一つが「自身の健康」。「いつまでも自分の足で歩いて、元気でいたい」「いつまでも若くいたい」「健康診断の数値をよくしたい」など、「健康になるためなら死んでもいい」というくらい、毎晩テレビの健康番組を観ては「アレを食べたら健康にいい」「こういう運動をしたら効果的らしい」など情報収集をしながら、頑張っているようです。

薬剤師は今後、薬のみならず、「どうやったら健康でい続けられるか」についてのエビデンスを調べ、関連知識を持つことも必要でしょう。それから、患者の個性を理解することも求められます。

私も健康を気にする中高年の一人で、毎度の食事に気を配り、足りないものはサプリメントで補い、適度で効果的な運動があると聞けばいろいろ試すという、そんな生活をしています。若い学生からすると「健康のため、なぜそんなに必死なの？」「もっと運動すればいいじゃないか」と思うかもしれませんが、若い時と違い中高年は基礎代謝が低くなるせいか、若い時と同じ量を食べると太



キャリア・
ポジション社長

西鶴 智香

ってしまいます。同じ動作や運動をしても、若い人であればすぐに疲労は回復しますが、中高年は時間がかかります。それは単なる人間の“老い”なのでしょうが、それを感じた時から健康を意識するようになるのです。

一方、老いによってできなくなることもあります。実は最近、意識が高い若手薬剤師に対する高齢者のクレームが増えているとのこと。高齢者は薬剤師から「なぜ薬が定期的に飲めないのか」「なぜ残薬が出ているのか」などと、上から目線で詰問されているように感じているようです。「健康になりたいのに、なぜ決められたことができないのか」を相手に押し付けているのではないかと思います。自分ならできると思うのですが、「年を取るということはそういうこと」と理解した上で、いかに個別に対策を提案していくかが薬剤師の大事なスキルなのです。今のうちに親、祖父母、親類など中高年や高齢者を観察し、理解を深めておきましょう。

全世代型社保会議始まる 「システムの改革不可欠」

政府は少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化を踏まえ、「誰もが安心できる社会保障制度の構築」について検討を行う「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げた。安倍晋三首相を議長に、関係大臣、民間企業や研究機関などから招集された有識者で構成。医療、介護、年金な

ど社会保障関連の幅広い分野を検討することとしており、年内に中間報告し、来夏をメドに議論を取りまとめる。

9月の初会合では、給付と負担の現状、生産人口の見通し、就業率の推移など社会保障に関するデータが示され、今後の会議の進め方につい

て意見交換した。

高齢化の進展などで、19年度の社会保障給付費は約124兆円に達し、団塊ジュニア世代が高齢期を迎える40年頃には約190兆円に達する見通しを示している。有識者からは「医療や介護のあるべき姿を示す中で、給付と負担のあり方を考え

るべき」などの声が上がった。

安倍氏は「少子高齢化が急速に進む中、これまでの社会保障システムの改善にとどまることなく、システム自体の改革を進めることが不可欠だ。関係大臣の総力を挙げ、具体的検討を開始してほしい」と指示した。

臨床で役立つ知識が身につく！

基礎からの漢方薬

第4版

【医療用漢方製剤
構成生薬解説】

「漢方医学」、「漢方の基礎理論」、「調剤、服薬指導」、「生薬・方剤」などを図表やカラー写真を多数使い、わかりやすく解説しています。

著 金成俊 / B5判 / 340頁 / 定価 5,000円 + 税 / 5月初旬発売

書籍のご注文は、お近くの書店または薬事日報社オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) まで。

